

平成 29 年 9 月 20 日

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ
株式会社三菱東京 UFJ 銀行

保有株式の売却について

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ（代表執行役社長 ^{ひらの のぶゆき} 平野 信行 以下、MUFG）の連結子会社である株式会社三菱東京 UFJ 銀行（取締役頭取執行役員 ^{みけ かねつぐ} 三毛 兼承 以下、当行）は、保有するマレーシアの総合金融グループである CIMB Group Holdings Berhad（以下、CIMB）の株式を売却いたしましたので、お知らせいたします。

1. 株式売却の内容

売却株数	412,506,345 株
売却日	2017 年 9 月 20 日
売却後保有株数	0 株
売却額	約 2,557 百万マレーシア・リングgit（約 680 億円）

2. 株式売却の理由

MUFG は、2017 年 5 月 15 日に公表しました「MUFG 再創造イニシアティブ」において掲げた「生産性向上に向けたイニシアティブ」の個別施策として、国際金融規制の強化やグローバルな事業環境の変化に対応すべく、資本運営の最適化を進めております。このような背景の中、MUFG グループ各社による戦略出資に関しては、その戦略性・資本効率・出資採算等の観点から見直しを行っております。

今回株式を売却することになった CIMB は、ASEAN を代表する総合金融グループであり、1974 年に当行の前身である旧三和銀行が CIMB の前身銀行の一つに出資して以来、40 年以上に亘って強固な関係を構築してまいりました。

今般、MUFG および当行を取り巻く環境変化を踏まえた慎重な検討を重ねた結果、株式を売却する結論に至りましたが、CIMB とは幅広い分野において協働しており、当行にとって ASEAN 地域における重要な提携パートナーの一行という位置付けは不変です。

当行は、1957年にクアラルンプール駐在員事務所を開設して以来、約60年にわたりマレーシアで活動されるお客さまを支援してまいりました。昨今世界的にも注目が集まるイスラム金融にも対応できる邦銀随一の体制を有しており、今後も当地に根差したサービス拡充を図り、お客さまの多様なニーズにお応えしてまいります。

3. 業績に与える影響

本株式売却がMUFGおよび当行の当期の業績に与える影響は軽微です。

以 上